

投資INSIDE-OUT

<投資の裏側>

Vol. 10

(INSIDE-OUT=インサイドアウト、隅から隅まで)

相場の常識・非常識 ③海外投資家の買い・売り

投資INSIDE-OUT「相場の常識・非常識」3回目は、株価に大きく影響されると言われる海外投資家の売買についてです。

◆なぜ海外投資家の売買が注目されるの？

日経平均株価が上昇した際には「海外投資家の買い」、下落した際には「海外投資家の売り」が理由にされることがあります。「海外投資家」とは、日本に居住していない外国籍の法人・個人のことです。主なものには海外の年金基金、金融機関、ヘッジファンドなどがあります。その資金量は膨大で株式市場でも大きな影響力を持っており、彼らが投資資金をどこに振り向けるかはマーケットで非常に注目されています。今年1月から7月までの日本の株式市場における海外投資家の売買シェアは約7割にもおよんでいます。

では、「海外投資家の買い・売り」が、実際にはどれくらいの影響をおよぼすものなのでしょうか。



◆海外投資家の買い・売りを、長期目線で見ると！

下表は海外投資家等による投資動向を把握する上で見られる指標「非居住者による対内証券投資(株・ファンド)」と日経平均株価を並べたものです。

短期では、資金流入が多いときは株価は上昇傾向、流出が多いときは下落傾向にあることがわかります。

長期目線では、資金流出時(株価下落時)に購入した株の価格が大きく上昇しています！

海外投資家等による資金の流れ	対内証券投資 月次金額	日経平均株価 騰落率(平均)		
		当月	1年後	2年後
日本への 資金流入	+2兆円以上	+5.9%	+3.9%	+9.1%
	+1兆円 ~ +2兆円	+4.3%	+6.4%	+4.4%
	0兆円 ~ +1兆円	+1.8%	+7.3%	+12.7%
日本から 資金流出	-1兆円 ~ 0兆円	-1.4%	+8.7%	+17.1%
	-2兆円 ~ -1兆円	-5.5%	+4.5%	+6.6%
	-2兆円以下	-3.7%	+8.9%	+27.6%

観測期間 2005年1月～2018年5月

(出所) 財務省、Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

海外投資家が資金を引き上げると株価は下落する傾向がありますが、価格が安い時にコンスタントに購入していけば、上昇時のリターンは高まると言えそうです。

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。